

厚真町こども園つみき
園だより

7月号
令和6年6月28日
園長 井鳥 佳織



《保育理念》

「生きていく力を育む」

《保育目標》

- ・僕らの暮らし 「その人らしさ」「食」「自然との関り」を大切にします。
- ・僕らの思い 「おもいやり」「楽しい」を大切にします。
- ・僕らの挑戦 「一人ひとりのやりたい、やってみたい」「試行錯誤」を大切にします。

田舎まつり音頭パレードに参加しました♪ (きりん組)

お天気が心配だった田舎まつり音頭パレードでしたが、無事に参加することができました。当日までの間は、遊びの時間にお部屋やホール、廊下、南園庭などで田舎まつり音頭を楽しんでいました。その中で『めちゃくちゃ踊るのが楽しみな子』『ちょっぴり楽しみな子』『恥ずかしがる子』『不安な子』それぞれの気持ちがありました。担当保育者と話して、自分が納得した形で参加し、楽しむことができたようです。

みんなが同じ気持ち同じ形にこだわる必要はありません。それぞれの気持ちがあることが当たり前で、健全な心だと思います。今回は「参加してみると、楽しいもんだなあ」と感じることを大切にしていたのですから・・・。



0歳児保育室入室の見直しについて

入園のしおり「こども園への送迎」の中に◇0歳児クラスは6ヵ月からのお子さんが在籍しています。感染症防止のため、送迎の際には兄弟であっても保育室への入室を控えてください。と記載しておりますが、

- ・新型コロナウイルスが5類に移行した。
- ・0～5歳児の縦の繋がりがや関りを大切にしている。
- ・現在、ホールで異年齢と過ごしている。

という現況と文面の大きな差が見られるため見直した結果、他クラスと同様に誰でも入室しても良いとしました。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

5月の全体懇談会にて、改めて保育理念についてお話をいただきました。欠席された方もいらっしゃると思いますので、この場でも簡単にお伝えしようと思います。

『保育理念』とは『この園がどうありたいか』というコンセプトであり、園の根本的な考え方を示したものです。日々の保育を支える『柱』として、子どもたちへの思いを表しています。

つみきの『保育理念』である『生きていく力を育む』はどこを見ているのか・・・。目先や小学校生活だけではなく、将来子どもたちが自立・自律し、変化し続けている社会でたくましく生き、幸せな生活を送っている姿を思い描いて暮らしています。

また参考資料として、2018年に経済産業省がアップデートした『人生100年時代の社会人基礎力』の話から、心とあたま『非認知能力』が鍵となること。0～5歳児時期の柔軟で発達が著しいこの時期だからこそ、

『心に働きかけ(ワクワク)×あたまをフルに回転(試行錯誤)』する多様で豊かな経験を遊びの中でたくさん培ってほしい！

そのためには、つみきとして

『豊かな物的環境』×『豊かな人的環境』を整え続けていながら、子どもたちと同じ目線に立ち、育ち合っていきたいと思います。保護者の皆さんと一緒に頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



7月の予定

2日(火) 体位測定

3日(水) 体位測定

『つみきのくらしをのぞいてみませんか？』

19:00～

8日(月) 夏休み出欠調査用紙配布

18日(木) 森林伐採見学(きりん組)

19日(金) お楽しみ会(きりん組)

22日(月) ワークショップ『森のラビリンス』作成

23日(火) 避難訓練(地震：午睡中)